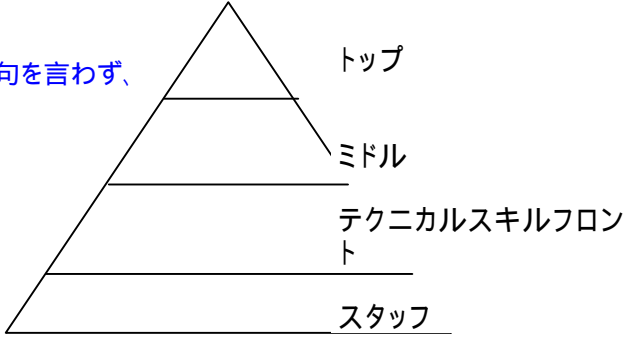


第3分	リーダーシップ(佐藤)
解説	リーダーシップとは、ある特定の環境・状況のもとで行使され、コミュニケーションのプロセスを経て、特定の目的・目標に向けられた他人に及ぼす効果的な影響のことである。つまり集団に対する影響力、目的・目標を持って他人に及ぼす影響力であるといえる。そしてその影響力といったものは、決して対象・組織に対して脅威となるものではなく、安心感・安定感・信頼感を対象が抱く作用を持ち、組織の目的・目標に向かう為の大きな推進力になるものであるといえる。そういった作用が組織内に発生・作用することによって、その組織環境は心地よい雰囲気となり、スタッフ一人一人の元気の素となる。そしてその元気の素は、自分の仕事に対しての自発的・積極的な姿勢を作り出し、組織環境を活性化させる作用を有している。リーダーシップを高めていく為の要素として、価値観の確立、人間関係能力の獲得、専門的な知識・技術の習得が必要となる。価値観とは社会の中で行動・生活していく上で、自分の判断・行動基準となるものであって、看護という専門職としてプロ意識をもつ上で土台となるものであるといえる。この確立がなされていない場合は、毎日の業務を通じて自分が対象に対して、どのようなケアを提供したいのかがイメージ化出来ず、ただ漫然と機械的に対象と関わってしまうような状況が生じてしまう。また人間関係能力は自分を知る力であり、自分に関係している周囲の人々の思いや考えを察する感受性であるといえる。 これらが高めることによって、“気軽に話し掛ける”“自分の感じているいい感じを素直に口にする”“相手の言うことを最後まで聞き、気持ちを受け止める”という大人としての常識的な行動へ結びつき、互いを理解し合える活気ある組織風土を育むことが出来る。また専門的な知識・技術は、対象へのケアを提供して行く上で、専門職として必要不可欠なものであって、その獲得により自分の言動の根拠をなすものとなるとともに、専門職としての意識の確立には欠かすことのできない要素であって、提供されるケアの質をも左右する重要なものである。
例題1	リーダーシップを高めていく為の要素について述べなさい。
回答	価値観の確立、人間関係能力の獲得、専門的な知識・技術
例題2	リーダーシップの影響力・効果について述べなさい。
回答	影響力といったものは、決して対象・組織に対して脅威となるものではなく、安心感・安定感・信頼感を対象が抱く作用を持ち、組織の目的・目標に向かう為の大きな推進力になるものであるといえる。そういった作用が組織内に発生・作用することによって、その組織環境は心地よい雰囲気となり、スタッフ一人一人の元気の素となる。そしてその元気の素は、自分の仕事に対しての自発的・積極的な姿勢を作り出し、組織環境を活性化させる作用を有している。
例題3	チームワークを保つ5つのポイントを書きなさい
回答	職場の方針、目標、計画をよく理解すること 自分の役割をよく知ること 他の人たちの役割を理解すること 他の人への協力・協調を積極的に行うこと 互いに人間理解をすること
例題4	リーダーシップとは何か
回答	リーダーシップとは、ひとつの社会的能力であり、集団の目標・課題を達成するために集団の人々に影響を及ぼす、集団の中で目標に向かって人を動かし状態を変化させる、という二つの力を持っている。この力を行使することにより、何らかの対人影響力を発揮する。
例題5	対人影響力とは何か
回答	影響力とは、「人間的な魅力×本人の意思×ポジションパワー」からなる総合的な力として、集団や個々のメンバーへ与える力動またはダイナミックな影響力の行使またはそのプロセスをいう。リーダーシップにおいては、「安心感」「安定感」「信頼感」という影響力を持っている。
例題6	リーダーシップが持つ影響力は「安心感」「安定感」「信頼感」である。これらを説明しなさい
回答	「安心感」とは、“一緒に考えてもらえる”と実感できる心が形成される影響力 「安定感」とは、自由に振舞っても大丈夫、見守りや関心を示してもらえると実感する心が形成される影響力 「信頼感」とは、自分の本心を言葉で話しても大丈夫、共感・受容してもらえると実感する心が形成される影響力
例題7	チームリーダーとして必要な要素を書きなさい

回答	価値観の確立（人生観・看護間の明確化） 人間関係能力の向上（自己洞察力、対人感受性、コミュニケーションスキル＝自己開示と自己表現） 専門的な知識・技術の習得（看護及び精神医療に関する知識、教育指導、問題解決能力） そして何よりも大切なことは、“自分の仕事が好き”である。
例題8	ヘッドシップ、支配、操作、リーダーシップのそれぞれについて説明しなさい
回答	<ヘッドシップ> ヘッドシップは組織がリーダーに与えた権限であり、それがどのような組織であれ、組織にとって必要な影響力 <支配> 支配は少数の権力者の持っている富・土地・物・情報・暴力などに服従することによってのみ生存できるシステム <操作> 操作は、マスコミや教育など、影響を受ける人たちが“影響を受けている”と気づかないまま影響されている、という恐ろしい影響力 <リーダーシップ> リーダーシップは、その人の人間性と専門性が、他の人に、尊敬と同一視の念を抱かせるパワーである。リーダーシップにおいては「人間性と専門性のバランス」が非常に重要なポイントとなる。
例題9	組織について説明しなさい
回答	トップには、概念的・理念的スキル 職務遂行の場で必要とされる管理・監督能力の質と量 ミドルには、人間的・コミュニケーションスキル フロントには、専門的・技術的スキル スタッフには、やらなければならないことを、文句を言わず、的確にやれる職務遂行能力を持つことがそれぞれに要求される 
例題10	グループの中でフィードバックを効果的に活用するための3つの機能を説明しなさい。
回答	率直なフィードバックを伝える：「○○さん、ほっぺたにご飯がついてるわよ」「○○さん、普段より顔色がよくないけど・・・」 やってきたフィードバックを素直に受ける：「どうもありがとう」「そうですか、実は・・・」 フィードバックのための門を開いておく：「気がついたことがあったら、どんなことでも言ってね」 部下の気持ちのわかる上司のための条件は、観察とフィードバックの技術につきる。つまり、コミュニケーションのタイミングに敏感になることである。